

## 令和5年度 第6学年 音楽 評価規準

6年 p.4～5

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
〈導入〉 「つばさをください」 (随時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「つばさをください」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「つばさをください」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 「つばさをください」の旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「つばさをください」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

6年 p.6

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
〈スキルアップ〉 「バナハ」 (毎時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解する。	〈知-①〉 「バナハ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。	○			
	技能	呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「バナハ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「バナハ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	輪唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 輪唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 言葉をもとにリズムで遊ぼう！ (毎時扱い)	知識	言葉のリズム、音の重なり、強弱や速度について、それらのよさや面白さなどに関わらせ理解したりする。	〈知-①〉 言葉のリズム、音の重なり、強弱や速度について、それらのよさや面白さなどに関わらせ理解している。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	言葉のリズムの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、言葉の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 言葉のリズムの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、言葉の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	ボイスアンサンブルづくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 ボイスアンサンブルづくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「おぼろ月夜」 (共通教材) (2時間扱い・4月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「おぼろ月夜」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「おぼろ月夜」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律やリズムの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 「おぼろ月夜」の旋律や、リズムの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「おぼろ月夜」の歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
短調のひびき (3時間扱い・4~5月)	知識	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
	技能	ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりする。	長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。		○		○
	主体的に学習に取り組む態度	長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
演奏のみりよく (4時間扱い・5~6月)	知識	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
	技能	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			○
	主体的に学習に取り組む態度	演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽器名人〉 「The Sound of Music」  (毎時扱い・6～7月)	知識	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「The Sound of Music」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
	技能	各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	〈技-①〉 各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて「The Sound of Music」を演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	リコーダーの音色や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 リコーダーの音色や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	リコーダー・アンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 リコーダー・アンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 動機をもとに音楽をつくらう  (4時間扱い・6～7月)	知識	動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解する。	〈知-①〉 動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
	技能	リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。	〈技-①〉 音楽リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	動機をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 動機をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 われは海の子(共通教材) (1時間扱い・7月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「われは海の子」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「われは海の子」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 「われは海の子」の旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「われは海の子」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
ひびき合いを生かして (4時間扱い・9月)	知識	曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	技能	各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・10月)	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色や楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
豊かな表現を求めて (6時間扱い・10~12月)	知識	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○	○		
	技能	各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れや声部どうしの関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。	旋律の流れや声部どうしの関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音のスケッチ> じゅんかんコードを もとにアドリブで遊ぼう  (3時間扱い・12月)	知識	旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解する。	<知-①> 旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。			○	
	技能	設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	<技-①> 設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	<思-①> 多様和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	<主-①> 反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
私たちの国の音楽 (4時間扱い・1月)	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	技能	呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器どうしの関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりする。	旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器どうしの関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりしている。	○	○		○
	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
音楽に思いをこめて 〈選択A「ふるさと」 +器楽〉 (3時間扱い・2~3月)	知識	曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解する。	曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
	技能	各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		

	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		
--	---------------	--	--	--	---	--	--

○=本評価規準例における中心的な項目

6年 p. 42～43, 45

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
音楽に思いをこめて 〈選択B 「ふるさと」 +歌唱〉 (3時間扱い・2～3月)	知識	曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解する。	曲想と旋律の流れなど音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
	技能	各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	旋律の流れや関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう  (3時間扱い・3月)	知識	もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解する。	〈知-①〉もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	○
	技能	設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出して聴いたりする。	〈思-①〉二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出して聴いたりしている。			○	○
	主体的に学習に取り組む態度	役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈ジャズとクラシック 音楽の出会い〉 ラプソディー イン ブルー  (2時間扱い・随時)	知識	曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	〈知-①〉「ラプソディー イン ブルー」の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。				○
	思考・判断・表現	旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法や、ピアノとオーケストラの掛け合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見出して聴く。	〈思-①〉「ラプソディー イン ブルー」の旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法や、ピアノとオーケストラの掛け合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見出して聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目